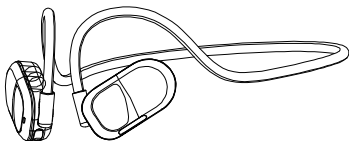


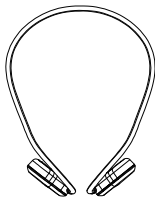
HiFuture



FutureMate

Wireless Earbuds

ユーザーマニュアル



FutureMate



マニュアル

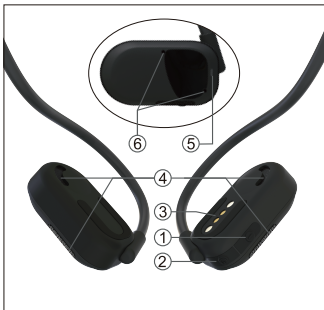


マグネット式充電ケーブル

破損した製品、ケーブルをそのまま使用すると発火等恐れがあります。
ご使用をお控えの上、販売店にご連絡ください。

製品概要

1. MFB マルチファンクションボタン
(電源ON/OFF、ボリューム上、音楽再生、一時停止、通話開始、等)
2. ボリューム下/ 前曲再生
3. 充電ポート
4. スピーカー
5. LED インジケーター
6. マイク



FutureMate本体をフル充電の上で使用ください。

FutureMate

HiFuture
MAKES LIFE
MORE VALUABLE

Made by Shenzhen Future Access Technology Co., Limited



www.hifuturegroup.com Designed in USA, Assembled in China

操作方法

* 音声ガイドは英語です

	操作内容	操作方法	音声ガイド*	LED
1	電源 ON	【MFB】を 5秒間押す	パワーオン	青 / 1秒点滅
2	電源 OFF	【MFB】を 5秒間押す	パワーオフ	赤 / 1秒点滅
3	ペアリング	自動（電源ONの後）	ペアリング	赤青点滅
4	接続	ペアリング完了後	HiFutureに接続 されました	青 / 15秒点滅
5	接続解除	通信圏外、接続解除後	HiFutureの接続 が解除されました	
6	再生	【MFB】を 2回押す	/	
7	一時停止	【MFB】を 2回押す	/	
8	前の曲	【-】を 2秒長押し	/	
9	次の曲	【MFB】を 2秒長押し	/	
10	ボリューム上げる	【MFB】を 1回押す	アラーム音 (ボリューム最大時)	
11	ボリューム下げる	【-】を 1回押す	アラーム音 (ボリューム最小時)	
12	通話開始	【MFB】を 1回押す	/	
13	通話終了	【MFB】を 1回押す	/	
14	通話拒否	【MFB】を 2秒長押し	ピープ音	
15	バッテリーLOW		バッテリーLOW	赤点滅
16	充電中		/	赤点灯
17	充電完了		/	青点灯
18	自動電源OFF	5分間接続解除 / 充電中	/	赤 / 1秒点滅
19	リセット	【MFB】と【-】を同時に 5秒間長押し	ピープ音	赤青 / 1秒点滅

製品仕様

Bluetooth ペアリング名: FutureMate

Bluetooth バージョン: Bluetooth 5.3

Bluetooth チップ: AC7006F4

対応プロトコル: HFP/A2DP/AVRCP

接続距離: ≥ 15 メートル (遮へい物無い環境 最大30メートル)

電池の種類: 100mAhポリマー電池

音楽再生時間: 約6時間(音量100%) ~ 約8時間(音量60%)

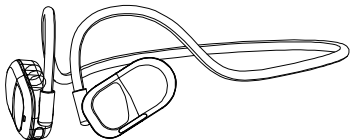
通話時間: 約5時間(音量100%)

充電時間: 1.5時間

スピーカー仕様: $15.4\text{MM} \pm 0.05$

スピーカーインピーダンス: $22\Omega \pm 15\%$

マイク感度: $-42 \pm 3\text{dB}$



充電

FutureMateの充電には同梱のマグネット式専用充電ケーブルをご使用ください。充電中LEDは赤色に点灯し、充電完了時に青色に変わります。



装着方法



FutureMate本体ヘッドホンを首の後ろに回し耳部分を掛け、両方のスピーカーを耳に密着させてください。お好みに合わせて快適に感じるま位置に調整してください。

本体は決して強く引っ張らないでください。故障の原因となります。

注意事項

- ・長時間音楽を聴くと不快に感じる場合があります。中音量でご使用ください。
- ・周囲の音が聞こえない音量では使用しないでください。
- ・ヘッドホンを投げる、強くひっぱたる、水中に入る等しないでください。
- ・ヘッドフォンは、火気、水、および高電圧機器には近づけないでください。
- ・小さな部品が含まれています。お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ・製品の廃棄はお住まいの地域の廃棄方法に従い行ってください。

上記注意事項違反により事故、損害等発生した場合、当社は一切の責任を負いません。

FCC 注意事項

コンプライアンス責任者によって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

この機器は、FCC 規則のパート 15 に従ってテストされ、クラス B デジタルデバイスの制限に準拠しております。

これらの制限は、住宅への設置における有害な干渉に対して合理的な保護を提供するように設計されています。

この機器は使用を生成し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

ただし、特定の設置で干渉が発生しないという保証はありません。

この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合は、機器の電源を入れたり切ったりすることで判断できます。ユーザーは、次のいずれかの方法で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 機器と受信機との距離を広げる。
- 受信機の接続先とは別回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

このデバイスは、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。

操作は、次の 2 つを条件としています：

- (1) このデバイスは有害な干渉を引き起こさない
- (2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある場合においても干渉を受け入れる

デバイスは、一般的な RF Exposure 要件を満たしております。